改修すゝむ 三太郎峠

芦北郡の西海岸を走る三太郎峠という難所も、かつては、薩摩隼人の安泰を助けた防波堤の一つになっていたのですが、その反面、文明開化後の九州経済の発展や文化の交流を大きく阻害し、新しい時代の九州開発の大きなガンとなっていました。

だが、この難所も、遂に三十五年九月二十五日「津奈木太郎」から改修の火ブタが切られ、すでに今年の三月完成し、近く開通できるみこみです。

そして、ひきつづき次の工事が、連日の暑さの中で進められているのです。

三つの峠で〝三太郎〟

吉村 毎年熊日主催で、県の南北縦断駅伝競走が行なわれますが、この時私たちは「三太郎の峠」という言葉をよくききます。今日は、この三太郎峠の改修について、沢田さんにいろいろおききしたいと思います。

まずはじめに、三太郎と申しますけれど、知らない方もいらっしゃると思いますので、その位置をおしえて下さいませんでしょうか。

沢田 ではこの図（下図）をご覧下さい。北から南へ八代、日奈久、田浦、芦北、湯浦、津奈木、水俣というように市町村が並んでいますが、日奈久と田浦の間の峠を「赤松太郎」、田浦と芦北の間の峠を「佐敷太郎」、湯浦と津奈木の間の峠を「津奈木太郎」という名前で呼び、この三つの峠を総称して昔から「三太郎峠」といっているわけです。

白い線であらわした道路が旧国道で、黒い線が改修で新らしくできる国道です。

旧国道はカーブが非常に多い山道ですが、これを、赤松トンネル、海ノ浦トンネル、佐敷トンネル、津奈木トンネルという四つのトンネル、のべ約三千㍍を掘って短縮しようというわけです。

吉村 八代から水俣までの距離は……

沢田 三太郎のトンネル約三千㍍の部分を除いて、新しい国道の長さは大体三十六・五キロメートルくらいになりますね。

吉村 水俣に最も近い津奈木太郎のトンネルはもうすでにできているとか……

沢田 ええ、三十五年の秋に着工して、今年の三月いっぱいで一応完成しましたよ。

吉村 まだ車は通っていないんですね。

沢田 近く通れるようにしたいと思っています。

吉村 新しい国道は、幅もうんと広くなるんでしょうね。

沢田 旧国道では四・七㍍から五㍍程度という非常にせまい山道だったんですが、新国道では、最もせまいところで六・五㍍、広いところでは七・五㍍というように、大分幅広くなります。

吉村 それだけの幅になったら立派なものですね。そうしますと、工事の費用もたくさんいるでしょうね。

沢田 まあ概算で二十八億円。そしてこれは一級国道ですから国が直轄して工事をやり、総工費の四分の一を県が負担するというわけです。

吉村 そうしますと、七億円程ですね。ところで、さっきのお話しの四つのトンネルのうち、まだ着工していない三つのトンネルは、いつ着工するんですか。

沢田 津奈木トンネルは、さっき申しあげましたように、舗装の一部を残して完成しており、近く着工するのが海ノ浦トンネル。それから佐敷、赤松という順序で着工し、三十九年度、つまり四十年の三月いっぱいまでには完成する予定ですければなりません。

吉村 そうですね。

沢田 それから、これは熊本県というよりも、九州の幹線道路という意味で、熊本県だけでなく、九州全体のために、非常に大きな効果があるんではないかと思うんですよ。

沢田一精氏　沢田知事副県本部長
吉村一郎氏　熊本放送局編成…熊本…話し手
…熊本…きき手

快適なドライブ・ウエイ

吉村 ところで、経済発展の基盤は道路が一番だということをよくいわれますが、三太郎改修が完了すれば、新国道でどれくらい時間短縮ができるんでしょうか。

沢田 八代から水俣まで車でいく場合、旧国道では二時間半かかっているわけですが、新国道ができますと、それが一時間十六分位……

吉村 約半分ですね。

沢田 そうです。しかも、津奈木太郎の場合をみましても、カーブが百四十カ所もあったのが十五カ所くらいに減ります。トンネル以外の部分はタンタンとした完全舗装。……トンネルの中には螢光灯もついて、快適なドライブが楽しめるということになりますよ。

いまでも旧国道を一日に八百台という車が上り下りしているわけですが、経済効果というものは非常に大きいといわなければなりません。

地域開発に大きな効果

吉村 特に南九州の開発という面での効果は大きいでしょうね。

沢田 そうですね。それから、さき程申しあげましたように、九州横断道路も完成しますし、天草架橋もできあがる。またその頃には八代港も一万トン級の岸壁が完成する、というように、基礎事業が段々整備されてまいりますと、いきおい地域の開発という面に非常に大きな効果が期待できるんではないかと思います。

吉村 そうですね。あと三、四年もすれば、熊本の経済発展の基盤ができてくるということが云えますね。

沢田 そうなんです。大きな期待がもてるわけです。

吉村 ではここで、いま津奈木の新国道の工事をやっていらっしゃる三太郎国道工事々務所湯浦出張所長の小西実さんのお話を、録音テープにとってきてありますので、そのお話をきいてみましょう。

沢田 工事で大変ご苦労なさっているそうですね。ではきかせて下さい。

〈録音テープより〉

小西 三太郎の三つの峠のうち、津奈木太郎の改修がこのたび完成しました。

全長約五千六百㍍、このほかトンネルの長さは五百二十一・五㍍で、去る三月三十日に竣工したわけです。

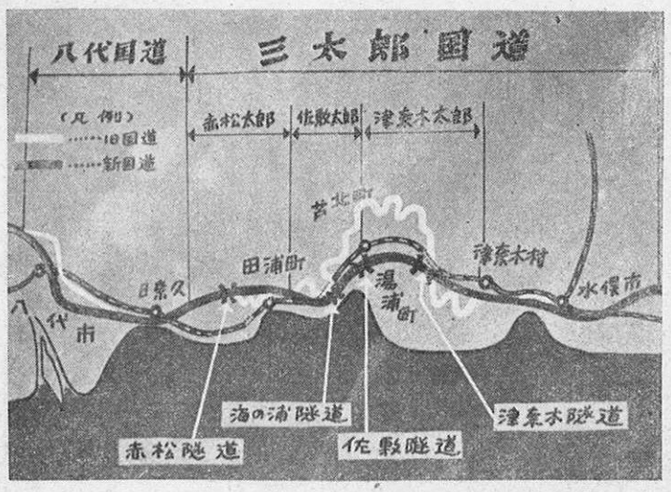
あとにひかえていますのが、佐敷太郎の千五百五十㍍、赤松太郎の七百㍍、海ノ浦トンネルの二百五㍍というわけです。これらもこと二、三年のうちには完成することになりましょう。

津奈木太郎の工事は約一年半ばかりかかりましたが、非常に苦労しました。トンネル工事は一般に水になやまされるものですが、今度の場合は山間道路のトンネルですから、水が足りなくて工事上困りました。又犠牲者が一名出たことは残念でした。

とにかく津奈木太郎の最後の仕上げをいそいでいますので、夏の終り頃には通行できるんではないかと思います……。

吉村……というようなお話でした。

沢田 だいぶん工事はむつかしかったようですね。

吉村 そうですね。立派な産業の動脈が一日も早く完成するよう祈りまして、終りたいと思います。どうもありがとうございました。

（文責・広報課）